Ｈ27－⑤　「身近な公園の整備・再整備に向けた検討～公園が持つ正負の働きを踏まえて～」に関する調査研究

調査項目　「身近な公園の整備・再整備に向けた検討～公園が持つ正負の働きを踏まえて～」に関する調査研究
調査年次　平成２７年度（9 次調査）
目的 各都市が置かれている厳しい予算状況下にあっても、公園不足地域の解消（新規整備）や既存公園のリノベーション（再整備）を、効率的に進めるための検討材料となる資料作成を目的として調査を行った。
概要 以下の内容について調査を行った。 ① 社会情勢から見た今後の公園の役割・機能の再整理 ② 公園におけるネガティブ要因の収集・整理 ③ 役割・機能ごとに必要な公園の規模や施設の検討 ④ モデル化の検討
結果 身近な公園の持つ機能や役割（正の要素）を整理し、公園の適切な利用や管理を阻害するネガティブ要因（負の要素）についても洗い出しを行った。 さらに、これらの正負の要素を踏まえ、身近な公園の整備・再整備に関する検討事例として、神戸市の２小学校区を事例に、公園の整備状況、地域の社会的状況の情報整理、公園利用実態調査や利用者アンケートを行い、具体的な整備・再整備の方向性の検討を行った。
課題 身近な公園の整備・再整備によって、公園の存在価値が向上したり、地域への貢献度が高まるなどの効果が期待できるが、今後、これらの効果を客観的に測定し、その効果について広く共有していくことが課題である。 これらの結果を活かしながら、各都市のもつ公園の特徴や状況に応じて柔軟に活用していくことが課題である。
調査結果の反映等
キーワード 住区基幹公園、整備、再整備、
事例公園等 札幌市「地域と創る公園再整備事業」、北九州市「地域に役立つ公園づくり事業」